巨頭小食正恒を說ひて野商合 「同を提唱せしめた際である。 「問を提唱せしめた際である。 「問を提唱せしめた際である。 「関の支配會社である事は 世間周知の論會で 此 間 保 は 近来更に一層優化した観があ

大株主を見ればがの物下を三菱の大株主を見ればがの物下を三菱の大郎を表した野船株の大口の排下を三菱の大株主を見ればがの如くである。(昭和七年六月末現在)株との、「日本野船の大株主を見ればがの如くである。(昭和七年六月末現在)株との、「日本野船の大株主を見ればがの如くであった。(昭和七年六月末現在)株であった。

を協洲の各地に股盟し之よ

清朝は建観の初め「官莊」

小作人か所有者たるが如き 作人にして其の實際に於て

七六五四二二、管署明 一、管有地

地が多く生じたこさ

禮部、工部の供用を課した際の調度を上もしめ成は之

各項充公鄉

會議は廿日栗原議長の開會の によって開かれ、重要なる議 によって開かれ、重要なる議 によって開かれ、重要なる議 によって開かれ、重要なる議 に動する根本的考察さ、在議 大使館の任務殊に其重要性に が、此の問題

左に是築地目の特殊性に耽い

企業合同統制策に

建投事業。平和的應案に

對する反對聲明日

紊亂の主因さして乗けらる

に荒地を開磐して之をしたこ をはず其の開拓の始めは陽所 をはず其の開拓の始めは陽所

地。公有地及氏有地の三に分地目の分類法は一般に、官有地目の分類法は一般に、官有地の権利時島の半體に基く

国別は無かつたのであるが民間軍命は君主と関係させ来。 茲に皇室の財産所謂「皇産」と國家の民間に何等觀念的

は兵馬

荒廢して其の帰屬の職局の

の主なるものを列車すれば左には漏洲特殊の事情、沿革等には漏洲特殊の事情、沿革等には漏洲特殊の事情、沿革等

清朝の基礎成るに至り、

二、韓京禮部官莊二、魯京戶部官莊

江、其の他の皇重

福州湖建國第二年の建設別を のは世日より新京日本大使館 に終て五日間開催される全端 可事智調はあらゆる遺味に終 で重要視され。一方東洋に割 する世界情勢が轉換し。日満 可動きも従来されて密めなる 影響を験料で贈らすに登めなる 影響を験料で贈らすに登めなる 影響を験料で贈らずに登めなる と表響を験料で贈らずに登める。 と表響を験料で贈らずに登める。 と表響を験れて語るので、會師の の成行きは注目されて居る

ロ、清朝の始めに當り奉天省

・地制薬剤の主囚・地制薬剤の主囚

の ず賦。独し官地にしてに佃に 付するものは必ず租を敬す、 管地の租は常初は私法上の小作料たるに過ぎなかつたが、 後土地の實権人民に移るに及び租は会法的負擔たる賦さ大 差なく名質相及するに至つた こさ

的に単いるはいカする

生じ食材三年十二月「前清皇 年では、 名利財産は中華氏圏 により特別の保護を行ふ」旨 を定むるに至つた、 名規定に 具体的方質質はを決定する事 の改正。人員の整備充質等の の改正。人員の整備充質等の

映藝化)

普須

秋鐘

方一

凱...

歌

達したものさ即測されて居る 個の意味から見れば帝國政府 個の意味から見れば帝國政府 (百五十二

ない。若し郷に先を飾されては、 本質がのがでも乾度八がに手かけ して、あの子を綴してゐるに根慮

取りかへしのつかねことになるの

「おんさう。まつと高齢さんだら」 「あんさう。まつと高齢さんだら」

と、おび及は動にいそんと、 動きの行き かりにある 歌楽が保護といるのは 田村健康機能を はない は は がでに 対 が で は が で に 対 が で ものなしと 云はれる 市場 が で ある。 こんなことを考へつとけてゐることを見て取れたもつてゐる。天野は早くもこれをもつてゐる。天野は早くも

後三島の汽車……おりょう

は、大野さん。お認み通り二千年があるんですが、今度は彼の一切をした。 ちょう 一対だつて出すまいと厭なってあたんですが、今度は彼の一などのなど

動変のつもりでか 断弦のつもりで書いたんですから、ハッキリと片をつけていたよく医 矢野參事官

(四)

財産中皇産さして確定せら

だ磁たる像定はない。云々 第出来る実り議撃視察をす のあるだ、之についても未

者し職でお目にかられませんでありますり。 ほうこうではわたしもなるも、 ほんとでするのがのお手師、間でしたのはいい、 いった、ほんとでする

愈よけふから

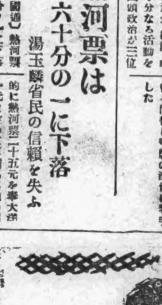
領事會議開

成行極めて重視

さる

協和會が

を集け生活の安定を別し地だる問島の民心安定を別し地だる問島の民心安定を別し地であり生活の安定を別し地であり、100円間島工作に着手することになり目下間島工作準備委員になり目下間島工作準備委員になり目下間島工作準備委員



燃河票

は

ます。さらですね。まて、ひど

医 「錦州十九日菱関通」熱河票 的に熱河票二十五元を奉大洋 と した、即ち熱河票の一元が奉 制貫出しをなして唐らか、 無 は最近保然六十分!」に下落 一元 こ 定めて 軍 語 高其他の 照 は 最近保然六十分!」に「元 こ なった、而して 湯は 短制 的に 熱河票 二十五元を奉大洋 医 こ えこなった、而して 湯は 短制

では、脚子が熱々し

と観を押かす。

でまてい」50でありませんか。 歴

さよなら

日は念ぎますから、されで失感しに無償拠します」と、あらたまつ

対する金融間接なるものを連続をなり、一般では、三、の支配を設定が、一点では、三、の支配を設定をある。三、の金融に関立の金融に、三、銀行及東京海が、大変の、は一点、は一点、は一点、は一点、ないから、其財政の缺陷は決して、銀行の缺陷の全部の資金を対し、銀行では、1000年間に、銀行で、1000年間に 銀行をして日本野船の計資会を第をごが設行をして日本野船の運出資金を対に、日本野船の運出資金を対し、日本野船の運出資金をはなるの様な深い因果無関係 に弦達して居るので ある。 大部は地は、原を組んだまとない。 東の間、東の影に取りだされた。 だった。

での家すから……それに臭機のであった。

せんから

しみのお機関になるといけま

早く自分の手で割ね常て、敷分すったものを。……だもまだ松人の だり あのおば佐といふ子を、即だっ あのおば佐といふ子を、即だったなら、さつばりと荒郷 こか日本の飼外へ、何へば上海。 一それが露見でもすると、いり 來るのだ。所で、其の處分配であれば、どうにかごまかすことは出 他の世から永久に翻つてしまふに それでは でおびんの風を見た。

とまはふか、そしたら際分、桃をしまはふか、そしたら際分、桃をしまけるか、そしたら際分、桃をはなり、でも實り飛ばして でには除つてますから

はなんか云つで……」と、彼女は ちよつと感む更似をしたが、なく のも然めず『それぢゃ、双近いうち に入らつしゃいっわいし聊日から に入らつしゃいっわいし聊日から 一気つて……」と、彼女は

本こなも幣痛聯相飛きた洲後而本で務著 だれる著原烈盟始ぶ。ざ建世し書極長者 では組著松に問め満乃ら國史での端官は サ上の岡暴題で洲ちしの家序筆な現前 でに選挙第の中國があれる。 も上慮澤さ本かのマル義してと忙議洲 本の智諾の質に直凱為をで日つ裡と國 い。釋氏たも又如れに誤滿くたにし總

(亞撒斯里)

代理店

阿

てい」之、神神義弱で、 夜眠れな から、少しあちらで間と

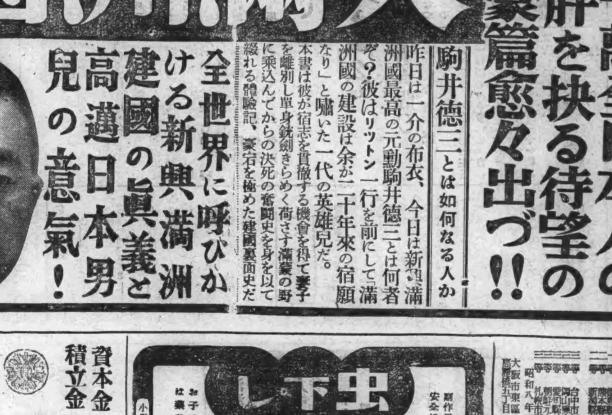
気つたが、

『どうもありがたら。それだや師

-

すに手令が君諸 記述る を物書の切一る に刻即、てつ抛 の集内書だ唯一の素が は如何なる立志 汽 百百五 0 ルビ丸京東

意



初春の御婦人方へ お召物新入荷 店門專 長春苦野町二丁目

電路三〇九二番

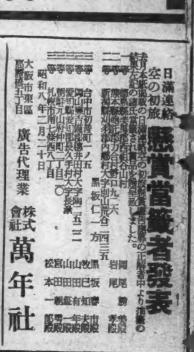
店











C

けふ廟議决まるの日

决定すると見られてゐる 確固たる最後的方針に開し重要協議を遂げその結果重臣會議を開くや否かもり十九日両関寺公を訪問の顕末を述べ聯盟に對する公の意向に基く帝國政府界京十九日發國通)政村は二十日午前十時より首相官邸に緊急閣議を開き首相

招致し、園会さの含見につき協議したが。明日午前中に緊急閣議を開催して念々聯盟に對する政府の决窓及手(東京十九日韓國岬)寮聯絡選は午後三峠【十四分東京評書師京し総選官邸に柴田沓記官長。場切法制局長官を 段を決定する事になった

が、總理は一等凝憂のドアーを閉し耐會を避けて沈默、紡龍米に偏ふべき思ひを練つてゐる如く沈痛な頭持ち【横濱十九日發鏡頭〕聯盟対策の重大報告を齎らす可く協秀訪問の齋藤鶴理は十八日午後七時半号京號西下した

を訪問、其後の聯盟の経済並に勧告女の内容を詳細説明。更に十七日の閣域の結果動骨案が總督で採擇される〔興津十九日建民者〕靜岡大東館に一泊した讚願首相は十九日午前九時自動車で興津に赴き九時半坐漁莊に固公 ■長早動かすべからざら所だから、日本こしては之れ以上聯盟に踏留る事は無用で、 諸般の

手續完了次第聯盟より脱退方針に決したなし、事重大なるため更にもう一度閣議を開き最後決

をする事になつて居る旨を述べ熱河問題に就ても詳細報告、老兔のこれに對する意見をも聴取種々重要會談

對する

成る

告するに決定した。尙悅通爾告は松岡全権の特別復命を決定到疫府は右さ切り難して動告案が明閱總會で採擇成立を早不可避さなつたので、 外務省は既にこれが財策さして「東京十九日發騰峰」 聯盟に於ける勧告案は大体二十五

衛脫通典告は松岡全種の時間復命を待ち其時期方法を考慮して進行本書でも・壁して動作案が時間機會で採擇成立直接直もに変表で、 右動音楽は受路不能

直接直ちに変数で、右動青峯は受結不能なる旨帰盟側への、「除述者の作成松岡幸権の演説草峯脱稿を必ぎつつあるが、日の總官に於て日本を除く大多数で一串裁決成立する事級

◎商業B組 8

金甲安(人) 宝川小県校

週友

◎金星俱樂啊8

⑤商業職員 8

は遊り社

是要或(B)

東京二帝町三丁目

◎用博倉庫 8

の C 組

◎精業▲組 8

公地校(B)

◎班莱赖員

せんこの川戸を有してき

その前に勸告案受諾不能通告

代表部の準備

聯盟總會に

提出するが有利さ

聯盟脱退の通告は

全權

の歸國後

を交へて酵夫した

園公訪問後 首相語る 東津使の列車で購京の途に就いたが、曽和は非常な機械で語る 意を表し、既定方針に邁進する様微励し、療験首相は十一時二分 し、九時半より十時五十分忍會見したが、聞会は政府の決意に賛 相は昨夜東京議登解闘市に一泊の上、翌日午前興津に遠会を訪問 (男津十九日發詞通) 醂型の經過さ政府の執電を報告のため孫職首

開酵で决定するが、重臣會額は未だなんさも考へて終らぬが必要があれば考慮する際で決定するが、重臣會額は未だなんさも考へて終らねが必要があれば考慮するでいき思ふ。熱河問題は西瀬寺公もよく知つ「居られたので詰さなかつた、専盟對策は明日が絶反對する。特別に案の反対演説は近く閉題で決定する堂々反駁し、我が全権はタユテーヴ引揚げをやるが編度對する。特別に案の反対演説は近く閉題で決定する堂々反駁し、我が全権はタユテーヴ引揚げをやるが編度對する。特別に案の反対演説は近く閉題で決定する堂々反駁し、我が全権はタユテーヴ引揚げをやるが編集され、原間の主旨は対して居るが、直接話す必要があるのでお訪ねした次単だ。西閣寺会は原盟の創設・問對策は今范屋々文書で報告したが、直接話す必要があるのでお訪ねした次単だ。西閣寺会は原盟の創設・ 閣議後直ちに

するばかりに推移したが、プース、コンモユニケ、は政府のス、コンモユニケ、は政府のス、コンモユニケ、は政府の

し、既に連續中從つて核代表 たなものを積々提出、おくま たなものを積々提出、おくま

行使せば自殺

さの常然の締結を見るに至を一掃することである。 か断くて鼻初から分析態の ーヴに於ける唯一の賢明なめ断くて鼻初から分析態の ーヴに於ける唯一の賢明な

新京日日新聞社

オブザー

各種團體から

執政に賀表奉呈

代表者の顔觸决る

○商業職員 8

向金星俱襲所8

商#B相

在頻軍人分會長

四戶友太郎

◎金星俱樂部8

三葉俱樂部

商業人組

○ 金星俱樂部 3-

バー紙論

後も無駄の具告で動き

べきは殆んご髭ひを

造つてめたこさを指摘して、 のブザーバー紙は翻開が日支 のブザーバー紙は翻開が日支

聯盟中心を排し

極東モ

ンロ

たなつてあるが代表者氏名は から執政に費表を暴するこさ から執政に費表を暴するこさ

作られる可能作あり

に提供が明新

相の決意を述べて設解を求め がでお諸事項が決定すれば外 がでお諸事項が決定すれば外 がでお諸事項が決定すれば外 草を急ぐ

代表部に訓

獨自の立場で

東洋の平和を圖れ

關東軍首腦部談一

「東京二十日登岡通」帝國に 対ちの開標会は二十一日開かれるので政府は

であつて

山本順長老閣僚さ會見し西園 郡に訓令するに登り、日本 報が極めて る事さならう。 さ打合せする所あつたが、更 相は直ちに参えたるに鑑め十九日夜外相 於て右諸事項 がをおり、タユー は常日の閣 相の決意を逃

現状に即せざるものである は東洋平和のため最も必要 は東洋平和のため最も必要 であっき信から従つて聯盟 脱退の是非を今更ら彼此れ ご論議するが如きは満洲の

何序繰返すさも妨けざ 最簡し十五條による打合せ 長城市) ものさ見られ、陳述者は総督領裁の豫定で松岡代表の常に任任れるので見られ、陳述者は総督副代表の 會項券表の豫定で松岡代表

三、月に且る議洲問題の論戦も を4今週を以て一段落を告け 中休みを入れねば土曜日、入 れねば木曜日に特別總費を終 了し、十九貞委員費も消滅す る際で、日本の動告不受諾に より、交渉委員費は成立せぬ まま帯盟の活動は一時停止の 敷さならりき豫型さるるも、 支那さ一部の小貞數はこれを 一段落たらしめずき、早くも。 し居る以上我が政府で 院退の決致を以つて財 に対したが 関語に於て力記したが 関語に於て力記したが の大ヶ針を決定し置か でも極力な 質数すべきを確信して 対象に対しては外務首脳 でも極力な でも極力な でも極力な でも極力な

選によつて過去一切の行懸 所なくてはならね。此時脱 所なくてはならね。此時脱 る續々新提訴 總督は終了して 國の態度 支那側及

の我が承認に職裂を用は動き付職告替に

では一路では一路

區 是 代表 他为委员是

英雄章

音響変渉を担否することに 直響変渉を担否することに 直響変渉を担否することに をである、環盟は日本さの をである、環盟は日本さの

そ果る路

熱河の討伐聲明で

視聴付集まる

支那側の抗日電も大賑ひ

國代表に

へて開

東西に於ける日支粉甲は今や「ヴュギーヴャ九日鞭網通」

映じた満洲 首都警察顧 0 眼 に

本政策の第二

さ云ふ事は苦々しい限0である云ふ事は苦々しい限0であ 其の上幾多小突破 的に本調 に体達され得る力

就刷下にある大使ご云本様なつて 】 丸さした武縣陸軍大將有るべき領事館等の機能を打得るべき領事館等の機能を打 度る陸軍より外が 而して此の政策は

の往窓を喚起するはにも総督に通達したが、陳述書は一般に通達したが、陳述書は一般 を有して議洲に在るさ云ふ しい日本の媒介物が他の する真の意圖にい

引するものである。日本は構然し島は取る資さ事酬別に於 の限り福洲に於ける平和維持 別に於て此の新組織を採用す され得るであろう。 いれ得るであろう。

であろうし、日本

堂脇俊盛譯

はなく合併さ云ム等を創以て外人から打ち消しつつめるさ外人から打ち消しつつめるさ 秀へて語る音を打覧ろいで答 へたのである。 移家は我が意を得たりさ云つた微笑を渡して吾々日本人は自己の表明に立つて日本の演洲に有する意図の心境を世に示すため

質の内に明に表して居る。又質の内に明に表して居る人々及各大臣の性。

9 得るだろう。明に投機輸送も一条の薄人速に依つて推量出来

破壊さる

明和八年二月十八日 明和八年二月十八日 明和八年二月十八日 明和八年二月十八日 明和八年二月十八日 明和八年二月十八日

の場立家にして無要家である 関下が極めて明らさまに音人 に話された単に依れば関下の が極めて明らさまに音人 に続ける段階は関下の統治能 であるこの事であり現在の講別 に続ける段階は関下の統治能 者。統創者統治者と即される。

あるものである。動王に對す なる一代(朝)及勇績を有せる 供し宜統帝の機味は閣下の背 部分の仕事は配下大笠又は訪問さ同じく関下の身後を保護 語さ同じく関下の身後を保護 はない時間さして破金箱の音 な然の時間さして破金箱の音 **購る母られる事が判別した。** たのである。年老かな関下は 山港間に落ち込んで丁はれ うさはみら 格をさつてるる従って手荷物 ルス日振陳の第二十九倍梁は十五千附近の第二十九倍梁は十五日か を含み現場は健歩をもつて連

取扱は州道復奮する迄中止

貸間

大和明丁 大和版館六號室 中馬小筋展アラバを可要ナクラ宝を

斯京地方事務所義 荒

木

章

新京の

卓球大會

希望者は當處へ 有り居抜きのまま護る でのまま護る

優勝す 金星クラブ

新京土地紹介處

東原校講堂において開催成績 京卓球大會は各方面の後院の 下に十九2年前九時半から商 でに十九2年前九時半から商

◎問題會社 8 部×数(A) 女學校 古古是

女給さん數名入用 (三十歳位金で) クロネコカブエー

日満融和を多分に加味した 経 三 月 ま 公 各種陳列 (本道) 本道 (本道) 本語 (本語) 本語 (新輪の(日滿お雛様)で共にお祝ひ致、三月一日は滿洲國のお誕生嬉悅溢る

ンライオ百貨店 赤木 本洋行

五人一漫自櫻 長崎カステ 金牌拜受の人気の店 8 h 5 1 3 ケ 牛ち

色 最高 大四二番 党

置を投與された 動具店番贈の優勝鉄並に波邊と因に優勝テームには美津濃を 福州航空株式會社々長護干鄭垂君去 海州航空株式會社々長護干鄭垂君去 一本十四日逝去被致候處鄭家二於テ八同家々訓二則以別段吊彈ノ儀式ラ公司を計謀以本月二十六日(日曜日)午二於テ追悼會開催可致候戲鄭家二於テハニ於テ追悼會開催可致候聞此段御近

人事往來

(追悼會事務所新京曙町東本願寺内) 友 人 有 志 一 同 禮 洲 航 空 株 式 會 社

會葬 佛總派 教代本 婦話

モンド事務總量に提出す可含 が總會に於て、松陽代表よりドラ が總會に於て採擇されたる実 對反對の聲叫書並びに勧告案

を全々粉糾せしめ刺へ最近一 に脚間は何時をも空種卒 のに脚間は何時をも空種卒

鎖ージユネーブを引揚ぐるやり訓電を發した洲國代表外や部顧問ブロンソンリー氏に對し即時事務所を満洲國外交部では二十日謝總長の名に於て在ジユネーブの

閉滿

さすべく邁進する。 目指し極東安全は 関の極東安全は

訓電出

○外務省に於て立案せる四間 の閣議に於て決定の方針に基

日本は最初から聊盟の忠實な一人さしてその職係は顔な一人さしてその職係は顔を今日脱退を考慮しなければならぬ場合に立事つたのはよくよくの事情があるからならない。 強州傾同種には日本は低いない。

く、次に内田が相より十七日飲いても密頭す。事さなら可

も密誦す。事さなら可し決定を目たる方針に

公の意向を報告し、十 木並びに帰席脱退に関する。

部は次の如く語る

いて関東軍首脳

を中ツ

S

の大語に近づいたが の大語に近づいたが の大語に近づいたが

力して商酬の治安を機能する に基さ、日本軍が議洲國を協

聯盟さの関係が感化しない熱河問題がなければこれ以 は事實である

で見れるなら勤告案の如きも 標會で保揮したまでもし日支 に見れるなら勤告案の如きも 問題での種様が感化しないの ある鬼に角 ある鬼に角

熱河省内支那軍陣地 豫想外に堅固

堅固なもので、赤峰・承徳・建 派員の情報によれば、熱河省(錦州十九日登詞語)説画特

四聯隊長か

東三省恢復の

任期論も原除へ帰還した歩兵 に寄せ来つた。 ら謝状

日近きにあり

全國民一致抗日せよ

宋子文の湯玉麟激勵演説

を対し短いできます。 後方の人民財政的に之を援助 後方の人民財政的に之を援助 を統一し、前線 きの職員領直順多私多用の賃 路本安一月十三日衛史地仙豪原者常雕龍浦洲駐割中は卸標を以て一里への地隔週に方りては武大なも御見送に接し原謝に不堪なものは開選に方りては武大なも御見送に接し原謝に不堪ならの時間のである。 引に及び候段御宥恕組上 一ク月余にて一網打造的に の家族を救援する貸き稱して の家族を救援する貸き稱して の家族を救援する貸き稱して の家族を救援する貸き稱して の家族を救援する貸き稱して の家族を救援する貸き稱して の家族を救援する貸き稲して の家族を救援する貸き稲して の家族を救援する貸き稲して の家族を救援する貸き稲して

步兵第四聯隊長森尼伊站

時局打開

在鄉軍人

人起

廿一日靖國神社に大

熱河討伐には

るのみな一

なり云々

らず、東三省恢復の希望をする。 をは云へ、熱河を防ぐは全く中 は云へ、熱河を防ぐは全く中 は云へ、熱河を防ぐは全く中

を構築し挑戦的態度を示して平。朝疆等の主要地には塹壕 兵士クラブ設立 資金募集

する能はずさし十九日午前舎 郷平人舎では重大時勤を黙褻

で二十一日鏡越神社に大 高高の在郷軍人に撤をの 後を協議決定の結果。A

裁行為に出です

米國は日本にして制

道果土の建設の貸北編の荒野

助野を打つて一丸さする網民 聯盟即時脱退砕行を目標さし一日午後二時日比谷公會堂で 情

追一酸鼻を極めたる

で認めた間は兵力の加騰をなすべく認めた間は兵力の加騰をなけ、何れにするも武力を伸はし、何れにするも武力を伸はがる制裁な事がはいかり得ず、新る制裁は平和に反すで警告して、十大條適用の意志なきを表明し、何れにするも武力を伸ばがあり得ず、新る制裁は平和に反すで警告し

尼港事件實相回 兵軍曹渡邊辰次郎 弾丸であつた。

出り動き腰部は東那街方面 本を教び出さんさしたが其の 時には低に市内はパ電燈るま が加く書願書戦の後一條の血 路を開き本縁に合せんさした 路を開き本縁に合せんさした 九、支那艦より 知さバルチザンを救けて我々日本人を苦しめるのかさ思へば皆我を忘れて氷上に走り支統は共和国にせん巨弾盆々間して成本唯々一鉄を携えるのみである。心は矢竹に接れてある。心は矢竹に接れてある。心は矢竹に接れてある。心は矢竹に接れてある。心は矢竹に接れてある。心は矢竹に接れてある。心は矢竹に接れて **デを衝くの思ひに堪えず懸つ** くき支那奴忍が悪逆無消歐の 是を見たる我が異率は怒髪 最も奮戦したが遂に衆寡敵せ

烈河掃蕩聲明を

の巨彈

對張最後通牒之觀測

華府官邊で重大視す

ものさしてゐる。その結果意

日比谷で

國民大會

を受けた。石川光義少佐以下 一日の早朝から彼の包閣攻撃 の関係して居たが十 びて料蓋し了られたのであるなる支那人の撃川す戸彈を浴 千歳の怨を吞んで異境に兇奏 十、領事館方面

迫してなって

日たから我が軍の永く 殺けたのであるから並なく敵の攻撃に悪じて 十二、敵の術策に なる。ないない。

集の上、軍人會の執る可き態 英防戦に努めた。十三歳の最高指揮官は河本 突撃を撃退した。而して守備 た言献は野砲で金ヶ内

飲は軒砲六門小口徑 施一两

日午前十時パルチザンが来て日午前十時パルチザンが来て

永井柘相、各閣僚、氏間からは 大会を属く那になつたが、 政 正顧の叫びを上げる事さなつ間山鍋、徳常蘇絳毎出頭して 0

犬質験自は十八日夜

プで開催されたが日の

で現金二月十九四七十銭を得たが。 件質不良で同月末無断にが。 件質不良で同月末無断

教術育さ

提全庫在中朝鮮

香き抜いてマスカきよぶので

政局に直面して

なごと答いたらっ

次の後の

更書かなくたつてわかつてる墓跡に業は、そんなこさは今

が然回的語を浴

熱河行きを機會に 張學良宋子文等の 抗日氣勢を揚ぐ

エト側要人をの他一時間局長始め東支環道の

数の來自あり非常な成

功を収

部さして組織部金山安、教授育なる秘密培社を創まし、幹

部川林小二郎、財政部花山政 次(假名)を任命し『開者を七

エト機関事とディ氏

意先から集立し料亭大吉。

機浴場二時貨の屋にて五名の敷へ昨年一月大連中の公園保

中競者を存在し満州赤色教授

聯盟側の蟲のいい解釋

日的決心を表示した適気を発見に豚へたものである、同時氏に豚へたものである、同時

ピン兵士クラブの資金募集のを與ふる為に設けられたハルーに敬寒を戦ふ皇軍兵士に慰安

の夜半盛育程に散替した 惡店員逮捕

友幸で共産貨再建運動 高節助教授女理大學助る 高節助教授女理大學助る を機秘程に取調べた時間 は、大学の別 元市內日本橫通食科店 4 員据 共產 か、カフエーに足を入れ道程 中を家人に歴見され本年一月 同家を解雇され、所々を徘徊 野をなし行方不明中の處十八 男をなし行方不明中の處十八 男をなし行方不明中の處十八

高師の助教授を検撃

が官の検率されたのはこれが 京 物官の検率されたのはこれが 元 ののく教育者を教育する高師

脱すべく微策してるた

爾來機關紙は二十二成為發行

主義の宜信に努む

本流の所謂外席。《嗣さして共 ・本教、議協コップは何れも共 ・表教、議協コップは何れも共 ・教経

る日本赤色教授等南洲地方大受け順際赤色教授者の支部に

配布に努め共産級の苗床を組の各位級雑誌及び承色文献のの各級級雑誌及び承色文献の

山安を派遣して正式の承明を回金網大會開催さる機會に企

月二回ガリ版摺の救援ニュ

あつた機関紙は三月一日よりした此の組織台頭から懸定で

班に分ち其の責け者をも決定

の加盟は四月東京に於て新三スを琢密出版し父日本赤紋へ

第三次在滿邦人 共產分子 けふ午前十時新聞

島重大の桁柄隊に帝紀の、川の目的を真の目的をし

茶商店精米部

今日白米

天。臙脂の各地一齊に は既に数千枚準備され居ることがあるの計畫を樹立し、檄文以て大々的にメンバーを獲得 及本廳安田餐都大連末光小樹 順檢察官。石井大連等察署是 撒布して瀟洲の姿を大衆に表 ので、一月二十五日午後)味 より大連地方法院検察局に さを富日朝に至つて採知した 順、大連各分會代表を決定し の再建を企圖し昨年六月前述 の再建を企圖し昨年六月前述 を創定し幹部及び奉天、撫 管令配信、綱領、規約、宣 で創定し幹部及び奉天、撫

大連、奉天、撫順共一齊檢事なる二十五日午後五時を閉し したが取倒べの結果は左の通 主任其の他関係係員會合協議子三浦。沙河口板津、各高等 其の檄文撒布の直回

北二市中未司事件開係者其 日本共産業 日本共産業

打開の

がて此の狀况に於ては吾々は 戦闘を中止する事は出来ない 唯一死歳悪に闘ゆるのみであ る、戦闘を中止する事は出来ない が勝さなる事である。 概し事天省各地に潜入せしめの選抜兵を募集し城血関を組 三人組の 要人の確較及順道破壞等

然らば戦闘を樹間する事は無の質に不利を來さん事を取り 田板剛長は一分一計を知り居 嘆して之を栄鬪に蝶つた所聞いのかも知れない進退極り壁 る幣なれば何等か調策上日本 中型四番路九井門標 1、場所 奉天大西邊門外商 **编 縣** 任 数 修

上王別群(四五)。 河北省生れ同王青祥(四五)。 河北省生れ同田大寿県八田五)。河北省生れ同所不定 新京署で逮捕をあるが、いづれも犯行の手であるが、いづれも犯行の手であるが、いづれも犯行の手であるが、いづれも犯行の手であるが、いづれる犯行の手であるが、いづれる犯行の手 窃盜團

研來時々台間を開き其體的運 馬占山部

神 洲香

教した 順は奉天橋領事館に去る二十

場上 場工制経営の焼鍋(特別機造 場工制経営の焼鍋(特別機造 のでは、大田で駅域内に在る のでは、大田でいる。 日滿要人暗殺を計畫

金田 一方を初め外数軒を荒し廻 一方を初め外数軒を荒し廻 **警洋行店員** 空巣に見舞はる

カで家人不在中を奇貨さし表 この枝は富士町の科亭臺廼米十三番地質洋51時目福本守榮 × シェナ

阿片邮賣

く指定し夫々指定数を交付と に関し慎単に質格を審議中で に関し慎単に質格を審議中で あつたが二月十五日、左の加 が一月十五日、左の加 けふ發表さる

新京城門四道街北傳院內門 新山區 (傳 古)古 河源原大街 (傳 古)古 日動電 全別院內詞二區 江縣南九道街門標二十四 1第一區 吳 子

型蛛進呈 和登商行ラヂオ部

與縣城內自斯街



1: 銭の郵券一枚携帯を同志の 特別さして大連老虎離卓車将 が別さして大連老虎離卓車将 が別さして大連老虎離卓車将 が別さし作家、科学者、映画、 エスペランド、緩神各同盟の エスペランド、緩神各同盟の 秘密出版し終来日本の全協へ ・ 東東鏡瀟洲地方事務局の再建 を日標に運動を進めてゐたの である 16の野券一枚携帶を同志の上述的付外 数點價格七十個線を窃取して銀行紙幣一関八枚、五十銭十 めるを触見し真に新京署に国 古凶禍福 過過福

京後七、四五(本西亞語)

ニュース ---- IIIO ATLX

一·诗十分出生 一·诗十分出生 △●門條頭五十二番地和田夏

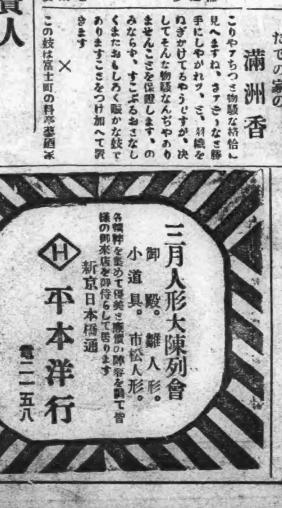
たで今年の知正月に寫した官

九時二十分出生 △燕萊鴻一丁日十二番地土 湖元戰氏是女叫于二月四日 男氏長男正二月十三日午長 つき改めて神経介

月十八十年河石時北亡 多少共是非 御下命願ひ 新京では一人でせう 家に抱へられて来た時、観測 ある名をつけるのが流行して るますが、横洲香は昨年趣廼

新京後五、二〇 演藝 ・大俊五、〇〇 レコード ・大俊五、〇〇 レコード ・大俊五、〇〇 レコード ・ 気を観用地商業が信針 ・ 気な後家さんと云ふ・しゃし ・ いかかへられてみる

オヒナサマ 新京の御嬢をそんの 初節句の 御 祝 に 神 歌 『一丁』 子 行



た落兵は總督の営兼に歴泣を、日夜、焦慮し輩して

の手は字簿、整刻し

所在駐前會式株業實省東

(番八三一三)(番五八五二話電

見腔科

科科般

科京

野學士

安谷勇次

よろしく御引せを願ひ を準備し一郎 各位の総 任來即投宿版客本位で

用命に隠じたい、思ひますので何卒繁業して戻りましたが昨冬新車歓台

日京新

取語ダーク朝 大 時マデ銅遠波ヲ順マス

神小內經兒科科

島醫院

zananamanamanamana A

祝町太子堂前

電話二九五八番

平素から訓練のゆき国

門司、神戸(大阪)行門司、神戸(大阪)行門司、神戸(大阪)行成いかる丸 二月世二日 がいかる丸 二月世二日 がいかる丸 二月世二日 がいかる丸 三月十二日 がいかる丸 三月十二日 がり行發資所

內科

小兒科、

產科、

婦人科

善生堂

日本橋道

(日曜祭日午後休診)

音手 茂マキノ

cs

の方針決定した音を報じ たつて

や、彼は、英氣媚典、巧に

往宅診

午後二時より午後六時まで午前九時より午後二時まで

(急患此の限りにあらず)

一蒼髓窟自ろ决死の江東を猛襲せし

に四国の山々が、ほの黒い。

を生するこさあり

休診日一每週月曜日祭日

隨

産婆

狩野

善惠

いたします

天野ラサエ

活がなたのお肌をなったのお肌を

御料留事士

種診

傾醫

新京祝町三ノー(中央公館東隣)

河の間りを生じ易き日の人 人の言葉を過信 日一十二月二 日七世月正新

(五三) 別島久緒

查作

配紅淚双

口腔外科

日本橋詰新京ビル二階一號室 腔科

樹舌を低しみ誠

田 院 診療時間 至午後六時(日曜祭日午後休診) 電話三三四五香 醫院 政

松田 本中 俊動

外皮科蘭

診療(憩 性泌 病尿科科 年後五時)日曜祭日午前中 同 富士町二

電話二六〇六番

醫院

若さに輝い

麗朗のお肌·

婦產 堀

電話三一八〇番

小野ヒサ子

活力

3

口腔 外科 科

若々しくなる

日職祭日正午笠,日曜祭日休齡]刀房,東三條 通外 休 齡)

病 痔疾科 小兒科 モヒ

三月雛人形陳

列會

婦

人洋服

八形は東京生れ

作者は日本一の稱ある久月

毛絹

冬物大賣出

随意 イン中毒 日本橋通郵便局前

電話三七五六番

御持ち申して氏ります

皆様の御出でを御待ち申して居ります

ロフ

商會

橋通三〇

十七日より五日間

正札の店

皆様の御批判さ即選定を 多種取揃へ陳列致しました

特にまつた精鋭四百、勇みむかつた。

小内

兒

科

杏林堂醫院

診療受付

正午より午後三時まで

ヤルンフーリストピューローの領観沿線主要各種及各地の

快傑河非蒼網窟相變らす

新京川银河電 1二二六職 ・ 大 連 支 店 ・ 電監四 三七番 ・ 電監四 三七番

開時在診の器に應す

堂脇サト子 Pはこ五二〇番

が本日歸院從前通り一般珍様の儒に應ず舊臘から新年に亘り旅行中で有りました 頗科醫學士 安利回陸科圏院

協計一〇九七番へ揃ひの富十屋自動車部 部擴張廣告

自動車

目動車は新車

大連市駿河町一大連市駿河町一大連市駿河町一

*

旗

商號變更公告

等行議本日ヨリ商號ヲ左記ノ通リ變更致 等行議本日ヨリ商號ヲ左記ノ通リ變更致 シ候ニ付此段公告候也 昭和八年二月十大日 左 記 新京三等町三丁目八番地 新京三等町三丁目八番地 新京三等町三丁目八番地 新京三等町三丁目八番地 新京三等町三丁目八番地

法律顧問及鑑定 踏契約書の作成 黑田實法律事務所 2000 五三五五

みしま P 吳服 店

子 刷 歯 ブラク ••• 液身美ブラク ••• ムーリク身美ブラク ••• 唐世フラク 弊九十百百大千三章

熱河問題のみで進む

マンス議長の方針

脫退意見 幣原男も 會は簡單に

一、報告書を採擇する臨時總會で、帝國政府は絕對反對の聲明をなすに松岡氏に宛て今後帝國政府の執るべき態度行動に就き左の如き訓電を發した東京二十日發國通)內田外相は本日午後一時半の閣議决定に基き本日聯盟帝國

勸告付き報告書採決に際しては反對を宣し聯盟不参加

を聲明すべし

ドラモンド總長よりの報告書、重大勧告に對し、陣聯盟規約第十五條第四項に依る報告書に對し、陣

、即時 決の通告を手交す陳述書を即時提出すべし

れてをり、機會では此の問題の 「いな事の熱が問題に集中さ になったが、現在の問題の になったが、現在の問題の がは事の中心議職は勿

いき云つた態度が見受ける 熱河間嶋が出て来れば嫌でも 見の様であるでらこんなものは役に立た で手を引き度いのであるが、 に好家を持つてのは熱河間壁で、 特告等に れる、即を熱河間壁さんなけ い、この方が日のは熱河間壁で、 特告等に れる、即を熱河間壁さんなけ い、この方が日のは熱河間壁で、 特告等に れる、即を熱河間壁さんなけ い、この方が日

總會終る

3

同

時

二十日の製温級高零下六度七

氣溫と天氣

最低零下十九度五。二十一日

の天氣西の風晴れ

同に観せずこれを上氏や、小り筋は我

歸國後決議をもつて脫退通告

齊引揚げ

軍縮代表は其の儘

さちろさも。 本和維持に依然 が引張けても顕洲問題は依 部が引張けても顕洲問題は依 部が引張けても顕洲問題は依 の根據で現代表

の一部論者を軽平なりさ非酸いさの態度をきり、同時脱退

付續されん

合は

受諾せずごも

教で邁進するさの方針であるすれば欧州を支持し、阜岡一

最後の決定

緊急閣議開かる

一、勧告附き報告書の採録の場合を搭騰長に提出すべき近衽適告に関して協議の上課一、第五項に依る帝國政府の陳述者の骨子及び一二十五日機會に続ける松岡全機の反動演説の内容及び●され廃職首相は関条さの會見結果を報告さ決に

せるに基く政府方針の効果を示すものである。 **5肚を決定した。然しその實行時制に就ては福府に御諮詢を仰ぐ順係もあり、其の場採擇の場合は日本としては、直ちに反對於明をなすさ共に脱退の手騰きを執る重大な〔東京二十日義論通〕政督は今朝の閣議で聯盟が二十五日の總會で意々動告を正式に**

見るにせよ。聊聞が背質的に、独合且つ五十四對一の結果を動物四項に移つた リカに終て生ぜる反響に成て

河をやる必要はない。もう少とここになるのだから此の際熱とここになるのだから此の際熱 れている ないを見られている

れ縁を切れ 聯盟ミの腐 白田少佐大連

日本に好意を寄する

期を見合せ

「大沙二十日登記道」 ・ 議判制成立等領地せざっ 作、議判制成立等領地とさっ 機多の重大事件に遭遇し、関 機多の重大事件に遭遇し、関 の活動を到した日ニッ佐は、

▲上海標金

▲上海日本向 上海倫敦向 上海倫敦向

各地市場

西門門門門門門の西門の名名全全立と

十六。在議邦人の小學校評監博覧を開催の件

海外經濟

訓 電

夫々任地に歸任せよ

聯盟脱退に就て

は、政府は決議を正式に決定し、

癥いて聯盟に正式脱退の

反對無き故通告後の會議にも依然代表を派し討議に参加せしむる意向なり脱退通告後は、聯盟會議には参加せぬが、軍縮會議に對しては其の主旨に

で何の程度まで日本の決意を も、唯だ松調代表がその演説

6反射するは既定の事實であ即も報告承認に日本が異向か

一計議 されるもの

波瀾を豫想せらると

聯盟總會第

反對宣言に關する

我外務省案の骨子

せ 席全権はシベリア經由で歸國し、長岡、佐藤兩代表は、總會終了と同時に帝國三代表は一齊に引揚げ、松尚主

新る現實の争展を基礎に増加は之を承認す他で開題は一、強洲國は既に獨立し、我的を文字通り適用せんごするは経動不可能で効果能し、我們は之を承認す他で開盟は

首相訪問

政黨政治を叫んで

閣議前に 山本兩相

各派少壯

代議士が

上內閣策謀

一日には相告及び動告のアメ

▲大連鈔票

狀勢逼迫せば

軍事内閣も必要

不可能の歌にして掲載反對のあるに頼り、磯流鏡承線ののみに頼り、磯流鏡承線の

によろ警察権當で日本は、熟河討伐は帰洲國の主権 が、関奪的に高級級利。山本関議は午前九時半朔會される

政友會

治的策謀に即係なき政、民、 各識の裏値的智動は深刻な6 人ましつもあるが、之等の政 人ましつもあるが、之等の政

し、これが奪れる礼ねば、代派京十九日麓城園)貴院各

日日(二十一日)プログラム院催された在議領革會諸祭二

七日更に外務省に有田次官 世見。脱退問題を中心に種

恵見を選ぶる時あつたが、

鈴木穂教以下名首脳部は重要は帰歴に對する政府の方針に (東京廿日鍵詞頭)政友會で

一大川 し憲法政治の基礎を確保せればならぬ治の基礎を確保せればならぬ治の基礎を確保せればならぬるの正論を唱へる者漸く多く

會議は

◆大連煙台间 *5票(20)

日査新京を去るこで遠からゆ伊通い農安街道に二個の局観が現はれ旅客乗き自動車を襲撃旅客から金品を京城内外に連續的に奉統所持の馬服賊が出没し農安。伊通間の自動車は全々不安に朝はれてろるが、十九

安縣廳稅捐分局 土任等襲はる 七百余圓を强奪さる

長安自動車で 萬成(一社)が護轉 突如灰色の防寒 四名組襲はる と頻繁した未験は悠々で逃走した 側、条統一挺、白金側の懐中 地域を開始した 財が明はれ、自動車に向け最 では直に捜査を開始した財が明はれ、自動車に向け最 では直に捜査を開始した財が明はれ、自動車に向け最 では直に捜査を開始した財が明に寿をかためた議別協策解析局四半街第二届分局服に身をかためた議別協策

去る十二日の夜東一條通り

に訪づれ

で女給を相手に接吻を交ふ握の新京商業學校の生服年帽に た五六人連の単生しかも白

九日午後二時三十分頃伊城 れかへ姿を消し急権に接し梨二百圓余を報奪難踏を幸に何

意外の多数に達しポスター闘切の結果による意識券作品は

東紀聲。△三轉楊施廳、李守貴等。長弓、東記言。張天功院宋宅院內郭熙楼。△三等徐院宋記書。張天功一等 双坡縣西北隅對終長前

◆鏡深、范宏人、 往芳 ◆鏡深、 范宏人、 往芳 ◆鏡深、 范宏人、 往芳

なし、去る二月十日榕

校営局は如何に見る(M

超新でしこれで新京人は痘瘡 に患者も漸減し今では新芽生は 日本 漸やく除かる 流感も今では下火 になつてゐるから痘疹患者は日中に全快して退院するここ に七名に過ぎない、これも近

間および関係各方面の権威者 であつたが十三日いらい。民

敬、攀桂生、季守仁、△三等秦中一等 吉林省派民祖楊武由吉

お手

々繋い

李中二、〇三等東中

史乃澄。李春順、

仲田牵男。

満洲國政府婦人協會愈よ成立

佐々木製市

配念事業に関する意見修一 女□三點。△詩□七點、△作△貨傳標語七□三點、△作

文綿。曾遠源、輩逸仙、平飛樓、一次。曹遠源、輩逸仙、平飛樓

日満の婦人たちが

一門ち 6痘瘡の新 患者を出して以来、瀧磯新京 島内の如く相つぎ穂傳染病患 者の半数を占むるに至つて現 在の第四病棟だひでは收容出 である ・ 一方流行性感冒も一時相 されたいさ 日までの間に通知訳を持参し 選からず

常選者は來る三月一日より十

林牛"《二等東田禹次郎、中支衙操、松本能、青木昌、石支衙操、松本能、青木昌、石、等根村弘、

林年、△三等東田禹次郎、村真、謝惠釋、劉忠等、劉志等、劉忠等、劉忠等、 劉忠等、 翰宗

カ配の耳目を聳たして

一二時から歯筋院會議室において では大に単行されることになってゐる。なほき名は鄭崎務 つてゐる。なほき名は鄭崎務 は理に依頼して決定すること

江、桐野繃洲子。磴仁、山大武礦江、漆雲霞、荒木雪大武礦江、漆雲霞、荒木雪

新興識洲

年記念日常日の三月一日午後 館で再幹事會を開き、株舗周

顔胸れは圧の通りである

除惡化に伴ひ一層の酸重

一個部隊が駐屯して居る等群

防備は護際期間の次

幹事長河村八重子(法制島)

婚人順体さしてのステップを

ポスター

く政表した。

ころ二十日その結果を左の に審査を委囑慎重審査中の

遼源縣境

怪しい飲食店に 取締の眼光る

限が緩低中なる粉が十五ロ梨 中央等の率ひら約百名の脂肪 中央等の率ひら約百名の脂肪 中央等の率ひら約百名の脂肪

織出し仲居さ稱し女給を雇人しても利明しない小料理店がにあっていいた店。さも、カフエの最近當局の指定反にした股偏に 短。紫乃家、春司竹に對し制 京署では特に目にあまる月桂

西三郎。穆祥山。青村英夫西三郎。穆祥山。青村英夫 人工等 新京新陞班舍八三號耐索、大久保隆表。金鳴员 常田薫。大久保隆表。金鳴员 新京新陞班舍八三號耐

日講婦人の融和に努

たかめ優美

盛澤山の仕事

犠牲的精神も養ふ

ある。

努め以て日綱親等の精神を作時互の親睦をはかも知見の朝日の親睦をはかも知見の朝日の開

國道局官制

正の件

間務院各部官制中修

め婦人協督の戦 立を計造し、

金部決定されことに堂々さ新 ちの他についても近日中に 後の事業計

君塚琴子。森田昌子、徳尻四波。平原女子、吉野花子

坂口豊子。山下安

森林

婦人一能念せんだ

では僅か

博覧會に

お師氏会譲はつこまんの大和 いない、 いの茶室の経時まして神奈川 をかけまんさ、静岡縣の茶玉 の経時まして神奈川 施子が茶道英女著語で有名な 概化安之助氏に伴はれて近く 王伯寅、李请、金承河。 間是民、光乾、松本榮、孫澤 仁、 △三等 咸廣動、毅允、 仁、 △三等 咸廣動、毅允、 一等 音味永青縣立女子第二

人を脅迫金庫中より現大洋八一名は長門にて見張をなし、一名は長門にて見張をなし、一名は長門にて見張をなし、

場に、日本茶を貨庫の盆め版に開催される萬磯大博覧會を

四製汽車公司へ元宵祭の混雑

四人組强盗

千余圓强奪

純日本式の茶室 接待役には大和撫子二人

(日文)研原羽友町四語

足に一十一日子

人間間の研究、競祭見祭に

分つて事業計画を進めやうご

ふのであり

幸仕部体育及趣味部の三部に时を達成せんがため研究部、現しやうごいふので、この目

□ (であらうごいはれてゐる)
 □ (であらうごいはれてゐる)
 □ (であらうごいはれてゐる)
 □ (であらうごいはれてゐる)
 □ (であらうごいはれてゐる)

人生徒は彌洲語、冬學堂、皆無校の四校は來る二十七日長県校の四校は來る二十七日 が、唱歌、劇響を行ふ悟で定 が、唱歌、劇響を行ふ悟で定 の感視者を行ふき、 である、なほ終了後は生徒等

建國一周年記念の

懸賞當選决

中央委員會で審査の結果

それん

~本人へ 通知

室町小學校講堂で

語學の學藝會 一十七日に

協和會辨

が、既に十國券五十枚以上を「て被害を防止する事さなつた」は果、その一部が逮捕された「行用後得等へ賃還券を配付し、第人では一寸見極めの「企業人では一寸見極めの「工造に五十銭券の賃道紙幣が最一倍り、第人では一寸見極めの「工造に五十銭券の賃道紙幣が最一倍り、第人では一寸見極めの「工造に五十銭券の賃道」の「大会」という。 日本基督の 西山牧師吉林

後任には京城から 吉川新牧師は語る 手で開拓してゆきたい」さ語

つてるた 日滿婦人協會 發會式は來

菱起さなり日禰夫人協會を組 人、鳩山夫人。其他名士夫人雄氏夫人をはじめ武順大使夫 織し二十五日午後一時神田教 る廿五日

されからは盛的方面に我々の一ちのですね。物的にはある程 開始すべく返編込んである。 後網洲網に對する鑑的運動を 新京日本基督教書牧師西山道 新鮮京被若草町教會にのた吉 別鮮京被若草町教會にのた吉 川二郎氏がさる十五日衆任し ける新典の意氣込みは復じ 二十日本社を訪び「鍋洲にお 四年間。この間間地李花専門県んだ士で京城若草町政舎に ン。ユニオン神県校に六年間た。吉川牧師は米側オーボル

ルンタ姆近は昨年十月頃から 十二届に分ち赤衛軍二個帰除 を以て波狀形の数兵壕で構築 を以て波狀形の数兵壕で構築 又ハタブラク師西方スタレ 洲里へ來たプリヤード人の談 家の直轄する道路建設会近蘇州から回境を越へて議 る詞道局を断京に設置

兵陣地も既に完成してゐるが近々長蛇の散兵後を築造し砲 年末ッウゴー寺院の居住者を 河一帝に駐屯する赤衛軍は容 更にパルソター及ズレタラ兵跡地も既に完成してゐる コー帝には遺儀網を構築し 逐七目下同寺院内に職兵各 歳に選事官若しくは技止を以端、第二技術職の三雄を置き 任)で"島に穂が鷹。第一技術十七名(委任)技士百四名(委 柳) 系務官九名(鷹任)屬官四 任)選事官一名(簡任若しく は鷹任)技E二十九名(鷹任

の諮問に應じしこれを審議すの諮問に應じしこれを審議す 公安總署次長、民政部總務司 是これに富り、個員には總務 競長に民政部總長、契调部總 **当め、治水工事を別位重要な** 國道台議官制案 へました▲三笠の笑子鶴の すあすはごの手でも

連子鋼 活の一五九のチェ

・ 選手 調 ○七五 五三 四五

任命するほか誘消局

三八三大八八八万〇〇

〇六五七大五大五九〇 11

まつさ入るさ『千代香』さい 八七通橋本口京新

髪のマダム千代香さんの本ム化道泉が出來た。屋敷は

鮮銀贋造紙幣 ハルピンで發見さる

極めて巧妙なもの てるるが役員には名誉を長

気込みである のみ行動

西川替務指導官案内にて各席の一年前十時経務局に到着李局是の事品の管察官は十八日曜行列の職務田督察官は十八日曜行列の事務田督察官は十八日曜行列の平街支局登)奉天省修察の 四平街巡視 一十支組織近に來観せるがこ 発育隊大百名は去る十六日哈 東軍第八軍長張光文の単ゆる

機都障あり査陥は潜伏し夜間門環築卓五輛を有し多数の後 のる行動してるる

開業

食道樂干代香

ソ聯瀕りに 軍備をいそぐ

フェーにあらず

最近歸來者の談 るため辛天、テヽハルにੑ がは、 がは、 がなものであるが、工事権 であるが、工事権 家の直轄する道路建設および に努めるので開業早々から許の美しいさころがサービス大 せら瞬、照子女子カスもなさ

八の七三

を巡視後官門動物肌がら報告を受け午後一時段線を了へた

歌劇の件中個

捕盥に向ふ

「教質十九日登過過)天京 丸は作十八日午後二時浦製に向け出収したが船中には時以するヨシア大使 トロヤノフスキー氏夫妻、音樂演奏の含めロシアへ赴く由田耕作氏夫妻が

熱河方町から潜入して来た低 偽勇軍夜間 ダンスホールキャピタル、新 原倉館では現在終館の正規の 原倉館では現在終館の正規の ので時節柄目腹的に選属する ってささして二十日から正十二 が、こささもして二十日から正十二 踊る時間制限

時态に聴測を短縮實施する事

大。規定洗淀粉瘤団令官の機行に属する軍隊を定むでの作中改正の作品が ダンス場の

では、
ここと希談する者は特別質員
の他慰安に請する事項
の他慰安に請する事項
を対音員は政府並に翻縁官庭
在動の婦人を以て組織し新京
在動者を正會員ごし地方在住
を対象する者は特別であ

より東子を安心して買うる店

四、春長、春七給奥品及の字句を追加するの案 の字句を追加するの案 手套および靴上は含せの肌給 各部官制中第34十六條「航空大同元年數令第五十號網務院

はれて来ない「自のがあつて、

て、それが生涯

明しなかつたこさで映画愛好 には大連を最初に第二が奉天 第三が新京ミ云本順で金開き れるこさになつたのは殆き輩

●色合は茶で縞物が大歓迎…

商

田

》

以

に

あ

に

の

に

の<br

するものでないこさは多く

・非常に確かしい ・非常に確かしい ・非常に確かしい

5000

HARRICH CHARLES

富

1938

合

服

新

柄

帝都大流行の

高し其のまま外に出しま されて胃るる小見はなる でく異呂の中で垢を洗ひ

街の燈』上場

日から長春座で

スラ社

ち乗ねてゐただけにいよく日か明日かき首を長くして待

紅玉リンゴの熊岳城産の

内

季節に應じ

ふどん綿

蓬萊町

(職主演のトー

らう、新

ツフリン

(1)

人間の智能には學業成績にも

きが届した

三日間宣夜長春座で新京聯合 整理にいよく二十一日から 変理にいよく二十一日から

心理

偉人の少年時代が案外 學者から 観た 子供 たり の智

能

食料品の戸棚の中の

質にもライオン俊暦でお磨るには似だけでなく。夜ね

頭が良くて成績が惡かつたり 不良兒になる子は?

野象に何等の さて同年齢の子供達の勉強の のな其の人の智能が除り高す 『方』 ないで、却つて不良親されたりするためで、もつて不 の説明さもなります。併し最 『傑』 した人物は少年時 代平凡であつたな のが最もいものは云ふまでも との聯者の一致した意見でそ は、智能検査であるこさは多 は、智能検査であるこさは多

口も清々さして安眠が得られれン歯癖で歯をくさ、身体も風呂に入つたついでに、ライ

の垢は毎朝毎晩ライオン値できの朝砂を加へた水を入れてきの朝砂を加へた水を入れてきの朝砂を加へた水を入れて

Resturar & Cafe レストラン

さ一届きょめがあります。夜れてみますが、ぬか七分に黒ぜて使ふれてみますが、ぬか七分に黒 箱根 Tel 朝京大和通り 3419(04)

各種炭販賣

本無流過激情報

毎日晝夜二回

問

題

0

巨

現中窓が 多庭重學

溶かした水で洗みさ汚れが精 凝ら前にもライオン歯磨で磨 しに限ります。

で、 関の中に の袋の中に

局後拨會 寄附者以

電気料集金人に年齢三十二月二十一日

THE SALES AND THE PARTY OF THE

百日金士【日 新泰洋行 **村京祝町四 電話二二九七番** たんぜん綿 服 荷 店 疆所

そもて於に京新!金利權な大莫ふいと弗萬十三切封地內本日の畵映此れ勿く驚 篇巨たれさ視問疑を切封の

切封占獨に遂劇喜弗萬百のン

電中前午は取場

階上一周五十錢 階下一圓二拾錢 御入場料

篇

変突

T 商 込 行 み は

切



一、腦體組織の貴重成分たる含燐蛋白は過度 となるものであるが本劑は骨髄成分中に多の勉強によりて著く消耗し頭腦疲勞の主因

腦髄榮養の目的を完全に果す事となり其結其缺乏を補ひ更に進んで其充實を圖るので量の含燐蛋白質を含有して居るから容易に

事生 學童諸君の一大危機たる受験準備期は 見に甚大なもので總でを學課の準備にのみ投頭して健康の保持を等関にするからである 類な茲に都鄙幾十萬の受験生諸君に向つて最 私は茲に都鄙幾十萬の受験生諸君に向つて最 者を善導する事は邦家に對する吾等醫學者の 責務であるが故である 喜々津

二、本側の骨質成分に含有する多量の構及カルチウムは吸收。同代及体内沈縮の優秀なるを特徴とするから全身の新陳代謝を好調にし就中精神神經系の過興意性を徹底的ににし就中精神神經系の過興意性を徹底的になる熟建と更かなる景曜とにより終日秋天なる熟建と更かなる景曜とにより終日秋天本なる熟建と更かなる景曜とにより終日秋天本

二、精神過勞及戸外運動の不足による消化障 一、過度の勉强に因する頭腦の過勞 碍を誘因とする全身榮養失調

三、本劑獨特の「骨髓造血機轉=数プロタルビン協同作用」により清新豊潤 精氣横溢 と いる と いる に と いる に と いる に さ 神經衰弱又は 結核の侵入を完全に ノックアウト し 得るに 到るのである で き 神經衰弱又は 結核の侵入を完全に ノックアウト し 得るに 到るのである 正 攻法を執りて 着實に 堅實に 準備を進むれば 正 攻法を執りて 着實に 堅實に 準備を進むれば 重 する事は 決して疑なき 威である

商吉友澤藤 店 社會式律 町修道阪大 京・京東・店支

ゼ

學童の平均睡眠時間

廉低價藥

百八十錠入 三百六十錠入

一 四 五 十 錢

12 13	11 	10 11	9 1 10	8 1 9	7 8	华齡	Allega, a	
					10,0八			
五〇	九、一八	九、三一	九、五四	九、五三	九、五九	女子		
	症			臒			1	

結核諸 貧血諸症 神經系疾患,生殖器機能障害 産 育期 疾 碍 老衰防止·腺病質 ビタミン缺乏症 -骨骼發育障害 重病恢復期 外科手術前後

来 一〇〇九人 二間七十銭 出切の節は直接發賣元へ御申込 品切の節は直接發賣元へ御申込 EXCE BLUTOSE